

UC-1 Engineer's Suite積算 NEW UC-1 Engineer's Suite

積算をサポートするソフトウェア。連携、簡単、サポート

基本的な機能を用意しつつ、弊社独自の機能として連携を意識し、連携、簡単、サポートをベースとした製品をリリースしました。

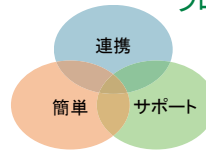
WEB認証ライセンス: ¥600,000.
 保守契約価格: (1年) ¥230,000.
 フローティングライセンス: ¥840,000.
 保守契約価格: (1年) ¥266,000.

電子納品
対応

Windows Vista/7/8 対応

UC-1エンジニア・スイート積算の主要機能

1. 国土交通省土木工事積算基準対応(H26年度版)
2. 単価データベース
3. 施工パッケージ型単価対応(H26年度版)
4. UC-1エンジニアスイート製品との連携
5. 設計書の取込み
6. 電子納品対応(EXCEL出力、PDF出力対応)



プログラムの機能と特長

■国土交通省土木工事積算基準

請負工事費は、工事価格、消費税、工事原価、一般管理費、直接工事費、間接工事費、共通仮設費、現場管理費で構成されています。各費用は、メイン画面に構成が表示されるため、一目でその内訳がわかる仕組みを用意しています。一般管理費①、イメージアップ費②、現場管理費③は、基本条件で設定された条件を元に内部計算を行います(①、②直接指定も可能)。

既存設計書

↓ 読み込み

本体オリジナルファイル

↓ 読み込み

積算本体

⇄ 呼出

⇄ 選択転送

⇄ 単価データベース

↓ 印刷プレビュー

↓ Excel出力

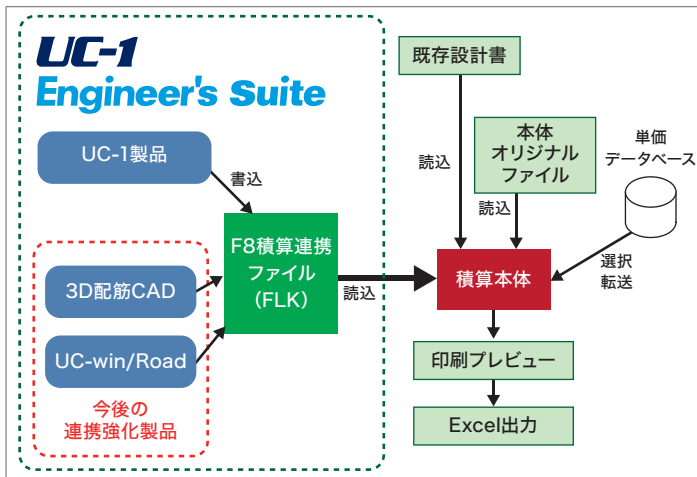
本プログラムは、基本的に直接工事費に積み上げる項目を単価検索(データベース)画面から必要な単価(施工単価、基礎単価、施工パッケージ型)を選択し、積算本体側へ転送させる事を繰り返し、経費を積み上げていく流れです。

■単価検索(データベース)

(財)建設物価調査会「月刊 建物物価、季刊 土木コスト情報」、(財)経済調査会「月刊 積算資料、季刊 土木施工単価」に掲載されている単価の平均値及び最安値に対応しています(⇒基礎単価)。施工単価及び施工パッケージ型単価も積上げ方法は同様の動作で、積算本体側へデータを転送する事ができます。単価は、年間4回(10月、1月、4月、7月)の更新を予定し、47都道府県(都道府県の主要都市を準備)の単価に対応しています。また、単価データベース内の検索機能(AND検索、OR検索)は、簡単に見つけたい単価を抽出する機能も用意しています。

■UC-1エンジニアスイート構成製品との連携

UC-1エンジニアスイートの設計で用いた材料(例えば、コンクリート、鉄筋、型枠など)の諸情報の数量を「UC-1 Engineer's Suite積算」側に取込み、数量と単価を結びつける事で積算をスムーズに行える仕組みを用意しました。各製品からの数量はプレビューで確認する事もでき、また各製品から積算連携ファイル(FLK)を出力する事ができます。



▼橋台の設計から数量を連動する場合

■施工パッケージ型単価

施工パッケージはH26年度4月版に対応しています。土工、共通工、コンクリート工、河川海岸、河川維持、砂防、道路舗装、道路付属施設、道路維持修繕、共同溝、橋梁の工種をサポートする予定です。標準単価は東京地区における基準年月日の施工単位当たりの単位であることから、地域及び時期の違いによる補正を行い積算単価にします。標準単価(P)から積算単価(P')への補正は、各施工パッケージの機材構成比(標準単価に対する機械経費(K)、労務費(R)、材料費(Z)、市場単価(S)の金額構成比率)の比を用いて算出します。

■設計書の取込み

「設計書」のフォーマットは各都道府県で様々あり、工事価格の見取りを行うときに、提供された設計書を参照しながら、一つ一つを工事区分、工種、種別、細別、規格の名称を設定し、数量を手入力することになりますが、設計書の取込機能を用いると、上記の入力を全て内部処理を行い、プログラム側にデータ(名称や数量)を取込む事ができます。設計書が複雑な書式の場合、設計書取込の設定を変更する事で、自由に調整ができます。

■電子納品対応(エクセル出力、PDF出力)

本製品で積算を行った結果を他ファイル形式の媒体に変換する機能があります。出力媒体として一般的なエクセル形式、PDF形式、ワード形式等に出力して保存する事も可能です。

■クラウドバックアップ

PCに常駐するクライアントプログラムにより、定期的にFORUM8のバックアップサーバにアップロードを行い、重要なファイルの自動バックアップを行うことができるサービスです。バックアップ対象に追加されたファイルは、クラウドバックアップサービスクライアントにより指定されたスケジュールで自動バックアップされます。